



防災のページ

問い合わせ 総務課 防災グループ ☎27-2481

北海道・三陸沖後発地震注意情報 について

12月16日から「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の運用が開始されます

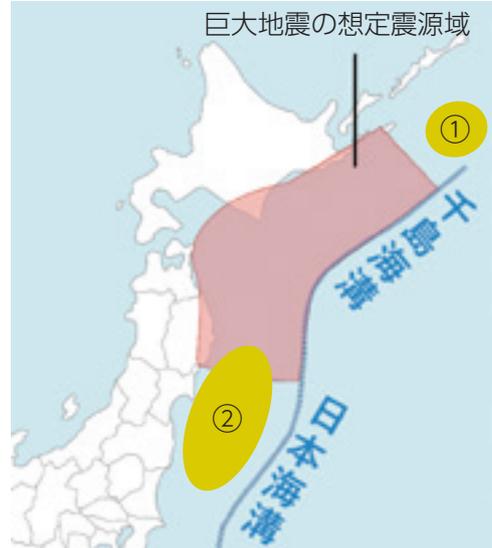
これは北海道から岩手県にかけて太平洋沖にある千島海溝と、日本海溝でマグニチュード7クラスの地震が発生した際に、その後最大でマグニチュード9クラスの巨大地震が発生する可能性への備え、注意を呼びかける情報です。

○日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震とは？

房総半島の東方沖から三陸海岸の東方沖を経て択捉島の東方沖では、これまでもマグニチュード7～9クラスの地震が多数発生しています。2011年に発生した東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)、1896年の明治三陸沖地震、869年の貞観地震など巨大な津波を伴う地震が繰り返し発生しています。想定される被害は、死者数が日本海溝沿いの巨大地震で最大19万9千人、千島海溝沿いの巨大地震で最大10万人と甚大な推計となっています。

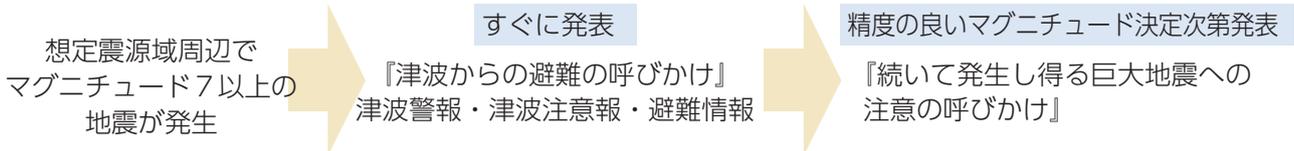
○これまでの事例

マグニチュード7以上の先発地震が発生した後にさらに大きな後発地震が発生した事例は、これまで2事例が確認されており、今後も同様の事象が発生する可能性があります。



- ① 択捉島南東沖地震 (1963年)
M7.0 約18時間後 → M8.5
- ② 東北地方太平洋沖地震 (2011年)
M7.3 約2日後 → M9.0

北海道・三陸沖後発地震情報 運用の流れ



すぐに避難できる体制の準備を！

<p>枕元に靴等を置いて寝る</p> <p>すぐに逃げ出せる体制での就寝</p>	<p>非常持出品の常時携帯</p>	<p>インターネット ラジオ</p> <p>緊急情報の取得体制の確保</p>	<p>崩れやすいブロック棚等に近づかない</p> <p>想定されるリスクから身の安全の確保</p>	<p>しりしり金具 備蓄食品の賞味期限 家具転倒防止板</p> <p>日頃からの備えの再確認</p>
--	-------------------	--	---	--

- 情報発信されたとしても、必ず後発の巨大地震が発生するとは限りません。
- 本情報では、地震発生後1週間は、後発地震に備えた防災対応を呼びかけますが、事前避難は呼びかけません。また、1週間経てば、後発地震が発生する可能性がなくなるわけではありませんので、引き続き、地震への注意が必要です。
- 本情報の発表がないまま、突発的に巨大地震が発生することもあるため、日ごろから地震への備えを行っておくことが大切です。